



# 2021年 新春の挨拶



新年あけましておめでとうございます。  
新しい年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症の猛威に振り回され、年を通じて心の晴れない年となりました。

町においても、当別町150年記念事業の全面休止、経済の著しい停滞、感染者の多発と想定外の事態の連続で、町民の生活基盤を大きく揺るがすこととなってしまった一年でありました。

そういった中で、一体型義務教育学校の工事着工、札沼線の新駅設置決定、光ファイバー網の全町的な整備、木質バイオマス発電所の誘致、ふるさと納税額の大幅増など、継続して挑戦してきた施策のいくつかが、昨年中に実施できたのが、せめてもの救いでありました。

今年の世界の政治経済情勢は、米国の政権交代により国際秩序は元の鞘に戻っていくと思われませんが、一

方で、中国を中心とする強権国家体制の台頭が、今まで世界をリードしてきた民主主義体制を脅かしつつあり、それにコロナ禍での経済停滞が絡み、今年の世界の政治・経済情勢はとても危うく、回復は期待できないどころか危機感すら私は覚えています。

町としては、移り変わる世界の情勢を敏感に感じながら、アンテナを高くし、事に当たっていかねばと強く感じています。

令和3年(2021年)の干支は辛丑(かのとうし)、「古いものから新しいものが生まれる」、「新たな種が芽吹く」と言われている年です。この干支にあやかって、やり残している「役場庁舎や図書館の新設」、「住宅開発による定住人口の増加」に果敢に挑戦する年になりたいと考えています。

皆様にとりまして、新たな希望に満ちた年になりますよう、心からお祈り申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

当別町長 宮司 正毅



新しく整備された北海道医療大学駅のバス待合所に停車する「とべー号」